

# 読書

県図書館では、県出身者や県内在住者が自費出版した句集や歌集を、郷土資料として収集し、大切に保存している。

日常のさりげない発見や、心の動きを詠んだもの、あるいは、娘の嫁ぐ

## 県図書館に行こう

こんな情報<sup>①</sup>が待っている

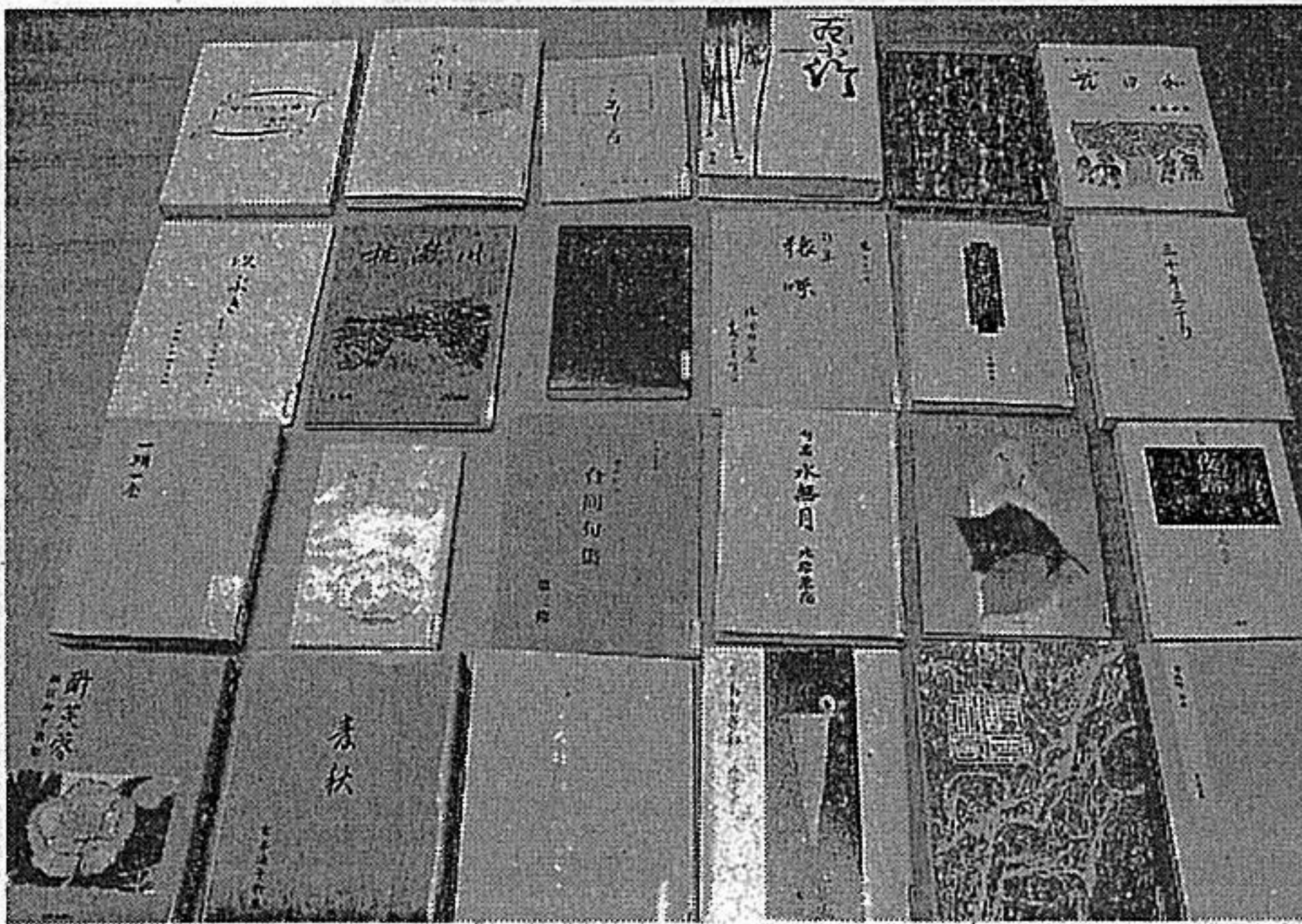
日や孫の誕生などを機に詠んだ、親の温かな愛情が伝わるものなど、題材はさまざま。年を重ねていく中で詠んだ句や歌を集めた句集・歌集は、詠み手の人生を伝える自分

史でもある。中には、生前に詠みためていた句や歌を、遺族の手で一冊の本にまとめた遺句集・遺歌集もある。

大手出版社が発行する著名な作家の句集や歌集とは異なり、こうした自

費出版の個人句集・歌集は、ともすると親族や知人など限られた人々が手にするだけで終わってしまふことが多い。しかし、公共図書館の蔵書となることで、幾世代にもわた

### 生きて証しを後世に 自費出版物(句集・歌集)



昨年、県図書館に寄贈された自費出版の句集や歌集

って引き継がれ、未知の読者と出会える可能性を秘めている。

県図書館二階の郷土コーナーには、寄贈いただいた個人の自費出版の句

集や歌集のほか、合同句集や合同歌集、関連する団体の機関誌なども収集している。これらを通して、同じ郷土に生きる様々な人々のそれぞれの人生を映した作品に触れることができる。

ただし、必ずしも県関係で自費出版された句集や歌集などが確実に県図書館にあるとはいえないのが現状。県出身者や県内在住者で自費出版物を出版の折にはぜひ県図書館に寄贈していただきたい。寄贈されれば県図書館で郷土資料として大切に保存される。この件の連絡先は県図書館郷土担当。電話058(275)5111、内線284

BOOK REVIEW